議 員 一 般 質 問 一 覧

令和６年第５回定例会

No.	氏　名	通　告　事　項	頁
1	宮　坂　千　尋	1　副教材の備品化推進による家庭や環境への負担軽減について	1
		2　住まいの防犯対策について	2
2	阿　部　律　子	1　乾式貯蔵施設設置計画の問題点は	3
		2　地球温暖化対策のさらなる強化を	4
3	隅　田　　　翔	1　来年度の予算編成方針について	5
		2　町職員の働きやすい環境づくりについて	5
		3　観光振興について	6
4	木　村　公　也	1　新税導入に向けての進捗状況について	7
		2　町中心部の雑草処理対策について	7
5	髙　野　　　晃	1　繰り返す人的ミス、原子炉中枢部でも	8
		2　狭隘道路の対策は	9
		3　女川町総合運動場ちびっこ広場の安全対策は	10
6	佐　藤　誠　一	1　町内道路の安全対策は	11
7	宮　元　　　潔	1　長期化する物価高騰に支援策を	12

【質問者７人・質問事項14件】

質問者　　宮坂千尋

質問事項	質問の要旨
1　副教材の備品化推進による家庭や環境への負担軽減について	教育現場において活用されている、副教材をはじめとする学用品について、年度初めの準備の負担軽減やＳＤＧｓの観点から見直しが必要と考えます。 （1）学校で使用する副教材の多くは、その教科での学習が終了すると、まだ使用できる状態であるにも関わらず、教材として活用を終えるケースが見られます。 副教材を学校の備品としてリユースすることで、家庭での準備等における負担軽減や省資源化につながり、多くの無駄が省けると考えますが、備品化について見解を伺います。 （2）社会的取組としてプラスチック製品の削減やリサイクルが課題とされています。 学校で使用する学用品にも多くのプラスチック製品が使用されており、他自治体では不要となった学用品を持ち寄って、必要とする児童生徒が再利用する取組を行うところもあるようです。本町小中学校でも見習うべきと考えますが見解を伺います。 （質問の相手：教育長、担当課長）

質問者　宮坂千尋

質　問　事　項	質　問　の　要　旨
2　住まいの防犯対策について	警察官や役所職員をかたる電話や訪問による特殊詐欺が全国的に頻発しています。高齢者から高額な工事費をだまし取る、自宅に押し入るといった悪質な被害状況を聞くにつれ、防犯対策の必要性を痛感しています。本町でも被害に遭わないよう対策を進める必要があると捉え、以下について伺います。 （1）防犯意識向上や被害防止のため、犯行手口に関する情報を、特に高齢者などに周知する必要性が高いと考えますが、本町で行っている防犯対策や検討状況について伺います。 （2）センサーライトや防犯カメラ、録画機能付きドアホンは防犯上、高い効果が期待できます。防犯対策推進を図るため一部補助を行い、防犯対策機能の高い町づくりを推進することについて、見解を伺います。 （3）住宅に限らず商業施設内や登下校時の安全、誰もが安心して過ごせる町をつくるため、防犯カメラ設置の増設等、今後の防犯対策に対する取組を伺います。 （質問の相手：町長、担当課長）

質問者　　阿　部　律　子

質　問　事　項	質　問　の　要　旨
1　乾式貯蔵施設設置計画の問題点は	東北電力が、女川原発の敷地内に使用済み核燃料の乾式貯蔵施設を設置する計画を２月27日に表明しました。 東北電力は、原子力規制委員会に適合性審査を提出、年末までに審査を終えるよう要請しています。「合格」が出されたら、宮城県知事、女川町長、石巻市長が設置の可否を回答することになりますが、次の点について伺います。 （１）６月定例会での一般質問において、「住民説明会については、東北電力が各戸を訪問し説明するものとして、町では行わない」との回答でしたが、東北電力の各戸訪問での説明は十分と認識していますか。 （２）保管期間と搬出先を明示させるべきではないですか。 （３）乾式貯蔵施設の設置に同意すれば、超長期間の保管を余儀なくされ、実質的な最終処分になるおそれはないのですか。 （質問の相手：町長、担当課長）

質問者　阿部律子

質問事項	質問の要旨
２　地球温暖化対策のさらなる強化を	「地球温暖化対策」に向けて、町は策定業務委託料を予算化し、令和12年度までに省エネ・再エネ・廃棄物の減量化・リサイクルの推進に力を入れると表明していますが、そこで伺います。 （１）令和12年度までの７カ年計画ですが、具体的に年度別の実行内容を明確にすべきと考えますが、いかがですか。 （２）再エネの推進については、太陽光発電を増やしてCO_2削減を進めるため、戸建ての災害公営住宅の屋根に太陽光発電設備を取り付けてはいかがですか。 （３）個人の太陽光発電設置補助金の申請件数は、平成23年度から令和６年度まで182件ですが、そのうち、平成28年度22件、平成29年度43件、平成30年度33件と集中しています。 特に平成28年度の申請者は、あと２年で固定買取制度が終了することから、タイミング的には蓄電池への補助を決断すべき時期と考えますが、いかがですか。 （質問の相手：町長、担当課長）

質問者　隅田　翔

質　問　事　項	質　問　の　要　旨
1　来年度の予算編成方針について	来年度の予算については３月定例会で議論が交わされますが、12月に入り各課からの予算要求も出ていると思います。今後、女川原子力発電所関連の固定資産税の増加が見込まれますが、その中で、将来への手堅い貯蓄と未来への大胆な投資を合わせながら、持続的な町づくりへの運用が求められますが、予算編成における基本姿勢と重要施策について、町長の見解を伺います。 （質問の相手：町長）
2　町職員の働きやすい環境づくりについて	地方公務員の副業は「原則禁止」ですが、首長など任命権者の許可を得れば可能となっています。地方公務員の離職が深刻化している中で、社会貢献となり得る副業を積極的に許可する制度を設ける自治体や、勤務時間にフレックスタイムの導入をする自治体もあります。公のために働く職業意識を高める取組も必要ですが、柔軟な職場環境も重要視されています。これらを踏まえた町職員の働きやすい環境づくりについての見解を伺います。 （質問の相手：町長、担当課長）

質問者　隅田　　翔

質　問　事　項	質　問　の　要　旨
3　観光振興について	（１）地域の顔でもある商店街は、その町の活力のバロメーターにもなります。本町では復興のシンボルとされた駅前商店街がそれに当たりますが、近年では空き店舗も目立ち始め、常態化している区画も散見されます。施政方針では、従来からスタートアップ支援への取り組みや創業・事業継承支援に加えて関係団体との連携について述べており、施策の更なる推進による商店街の活性化が期待されます。現状の認識と今後の施策について、町長の見解を伺います。 （２）宿泊施設は長期滞在者の減少や新型コロナの影響を受けています。 　宿泊施設の安定した経営は、町内の活性化や安定した雇用の確保にもつながります。宿泊促進策として団体旅行へのバス助成金やクーポン券事業などは誘客促進につながり、女川に気付く「きっかけづくり」に効果的と考えます。 　本町の宿泊促進に向けた今後の取組について伺います。 （質問の相手：町長、担当課長）

質 問 者　　木 村 公 也

質　問　事　項	質　問　の　要　旨
1　新税導入に向けての進捗状況について	町長は令和６年度の施政方針の中で、使用済燃料税の導入について、しかるべき時期が来たということで導入の具体化並びに事前協議への回答に向けて動きを進めるということを表明しました。 あれから９カ月が経過し、現在どのような状況になっているのか、伺います。 （質問の相手：町長、担当課長）
2　町中心部の雑草処理対策について	各行政区の協力により、年２回のクリーン作戦が実施されており、行政区内の雑草については、きれいに処理されている状況です。 一方、役場周辺、小中学校周辺及び女川駅の女川南区側（エルファロ前）や大原南区側（役場職員駐車場周辺）の雑草については、伸び放題になっていることから、各行政区のクリーン作戦の時の範囲外となっている場所については、来年度において雑草の処理対策（草刈り）の予算措置をすべきと思いますが、町の考え方を伺います。 （質問の相手：町長、担当課長）

質問者　髙野　晃

質　問　事　項	質　問　の　要　旨
1　繰り返す人的ミス、原子炉中枢部でも	女川原発２号機で11月３日に発電機試験併入時に移動式炉心内計装系の検出器及びケーブルの逸脱が起き、原子炉を停止する事象がありました。 （1）検出器及びケーブルの逸脱とは、どのような事象だったのか伺います。 （2）事象発生の原因、また、再発防止のため、どのような対策がとられましたか。 （3）９月13日の非常用ガス処理系の計画外作動のほか、多くのヒューマンエラーが過去には発生しており、その都度、対策がとられてきていますが、一向になくなりません。どのような作業をするにおいても、最終的に東北電力の社員が確認をとるよう要請すべきでは。 （質問の相手：町長、担当課長）

質問者　髙野　晃

質問事項	質問の要旨
2　狭隘道路の対策は	震災後の復旧整備によって町内の道路事情は大幅に改善されましたが、被災を免れた地域には、いまだ４ｍ未満の狭い町道が見受けられ、救急車や消防車の通行、防災の面での不安を感じています。 （１）現在、町道で４ｍ未満の狭隘道路は何路線あり、そのうち住宅地等で対策を考えているのは何路線ありますか。 （２）町内狭隘道路沿いが空き地になっている場所も見受けられます。鷲神15号線では道路脇東側の土地を町で買い取って拡幅するといった対策が可能かと思いますが、狭隘道路対策についての見解を伺います。 （３）今後、旧一小跡地での認定こども園の開園も予定されており、施設周辺にも多くの狭隘道路があります。子どもの送迎や利用者の施設への行き来が安全にできるよう、特に浦宿地区での狭隘道路対策が必要と考えますが、今後の計画等について伺います。 （質問の相手：町長、担当課長）

質問者　髙野　晃

質　問　事　項	質　問　の　要　旨
３　女川町総合運動場ちびっこ広場の安全対策は	黒森沢復旧治山工事が令和６年７月から８年３月までの工期で大原地内で行われています。県工事ではありますが、作業通路が女川町総合運動場ちびっこ広場にかかっています。 （１）コンクリート打設の際は工事車両が１日15台ほど通行すると説明されていますが、その時は公園を立ち入り禁止にするのですか。 （２）作業通路幅が３ｍ～４ｍ程しかありません。進入禁止区域をもっと取り、警備員を配置し安全対策を求めるべきと思いますが。 （質問の相手：町長、担当課長）

質 問 者　　　佐　藤　誠　一

質　問　事　項	質　問　の　要　旨
1　町内道路の安全対策は	（１）町内道路の横断歩道や停止線、車線を示す白線等が薄くなっている所が多くなっています。その対策は。 （２）以前から、地域医療センター下の交差点に右折レーンが必要との声を聞きますが、町としてどのように捉えていますか。 （３）浦宿橋交差点に信号機の設置は。 （質問の相手：町長、担当課長）

質問者　宮元　潔

質　問　事　項	質　問　の　要　旨
1　長期化する物価高騰に支援策を	ロシアのウクライナ侵攻に伴う資源高騰や、円安を要因として、生活用品、特に食料品や燃料の価格高騰が止まりません。これから冬季期間に需要が高まる灯油の高騰に始まり、ガス、電気、食料品等全般的に値上がりが続くことで、町民の家計は追い詰められ、全体的に購入意欲も減退しています。 国の施策でガソリン等の燃料価格の抑制や低所得者への給付対応などが打ち出されていますが、世界的にも物価高騰が終息する気配はなく、長期化していくものと予想されます。 （1）町では、町民の皆さんがどれだけ大変な状況に陥っているか、把握していますか。 （2）町で支援策、救済策として、独自の経済施策を進めてはと考えますが、見解を伺います。 （3）低所得者以外を対象とするものや中小企業に対する町独自の支援策や救済策を打ち出すべきと考えますが、見解を伺います。 （質問の相手：町長、担当課長）